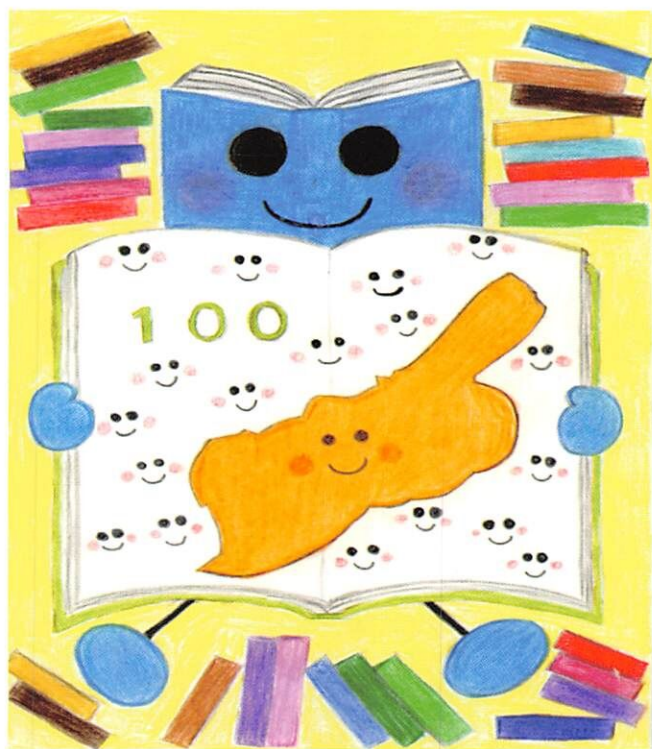


# 本は友だち ～清瀬の100冊～



清瀬市教育委員会

## はじめに

みなさんは、本を読むことが好きですか。

楽しい絵、おもしろそうな名前にさそわれて本を読むと、新しい友だちができたようにわくわくした気持ちになります。

本を読むと、新しい何かが発見できます。

本は友だちのように、心の成長をそっと応援してくれます。

「本は友だち」には、100冊の本が紹介されています。

清瀬市立小学校のみなさんに、心に残る素晴らしい本との出会いがあることを願い、選びました。

学校の図書館には、清瀬の100冊コーナーにすべての本が備えています。

たくさん本を手に取り、たくさん世界をのぞいてみましょう。

きっと、みなさんは新しい友だちに出会うはずです。

※この冊子は、「小学生ならだれでも読める本」「3年生くらいから楽しめる本」

「5年生くらいから楽しめる本」に分けられ、50音順に並んでいます。

※読み終わったら、巻末の読書記録に日付と感想を書いておきましょう。

## 小学生ならだれでも読める本

### 1 一文坂

文・絵：まつしませつこ

清瀬市郷土博物館



これは、きよせに むかしからつたわる <sup>はなし</sup> お話です。むかし、<sup>なかざと</sup> 中里の村に <sup>むら</sup> きゅうなさかみちが ありました。そのさかみちで ころんだ人には あとから かならずかみさまのばちが あたりました。ですから、<sup>ひとびと</sup> 人々は、ここをあるくときには、ころばないように<sup>き</sup> 気をつけていたのですが…。

### 2 うごいちゃだめ!

作：エリカ・シルヴァマン

絵：S. D. シンドラー 訳：せな あいこ

アスラン書房



アヒルとガチョウは、いつもライバル。2わが、かおをあわせると とたんに きょうそうが はじまります。きょうもまた 2わが きょうそうを はじめました。どちらがつか おたのしみ。

3 うんこのえほん  
うんぴ・うんによ・うんち・うんご

文：村上八千代 絵：せべまさゆき

ほるぷ出版



うんこは、たべもののカスや<sup>からだ</sup>身体の中<sup>なか</sup>でいらなくなったものからできているんだ。さあ、きみのうんこは、うんぴ・うんによ・うんち・うんご？どれかなー？

4 王さまと九人のきょうだい

訳：君島久子 絵：赤羽末吉

岩波書店



それは、いつのころか、てんで、けんとうもつかないほどのおおむかし。中国<sup>ちゅうごく</sup>の年<sup>とし</sup>よりふうふが 9人<sup>にん</sup>のこどもを さずかりました。その9人<sup>にん</sup>には、それぞれ ふしぎな<sup>ちから</sup>力があつたのです。

## 5 おおきなきがほしい

作：さとうさとる 絵：むらかみつとむ

偕成社



おおきな木の中に、じぶんのひみつきちがあったら たのしいでしょうね。かおるが、かんがえるおおきな木は、そんな木です。

## 6 おかえし

作：村山桂子 絵：織茂恭子

福音館書店



ひっこしのあいさつにやってきたきつねのおくさんが、「これは、ほんのつまらないものですが…。」と、いちごのカゴをさしだしました。それをもらった たぬきのおくさんは、なにかおかえしをしようと ほりたての たけのこをもって、きつねのいえの家へ…。

## 7 おこだでませんように

作：くすのきしげのり 画：石井聖岳

小学館



なにをやっても、しっぱいばかり。みんなにめいわくをかけて、おこられてばかりのぼく。そのぼくが、七夕のたんざくにかいたねがいごとは、「おこだでませんように。」でした。

## 8 おしょうがつ

作：松野正子 絵：ましませつこ

教育画劇



いつもとおなじあさなのに、きょうのあさはちがいます。おしょうがつのあさ。一年のはじまりはどのようなあさでしょうか？

## 9 おまえうまそうだな

作・絵：宮西達也

ポプラ社



アンキロサウルスの<sup>あか</sup>赤ちゃんが<sup>う</sup>生まれた。でも、なぜかひとりぼっち。ママがいない。なきながら<sup>ある</sup>歩いていると、<sup>おお</sup>大きなティラノザウルスがひとこと「おまえ、うまそうだな。」さあて、<sup>あか</sup>赤ちゃんはどうなってしまおうのかな？

## 10 きつねのでんわボックス

作：戸田和代 絵：たかすかずみ

金の星社



<sup>まち</sup>町はずれのでんわボックスにあかりがともるころ、いつもでんわをかけにやってくる<sup>おとこ</sup>男の子。そんな<sup>おとこ</sup>男の子をそっとかげから<sup>み</sup>見まもるのは、<sup>こ</sup>子ぎつねをなくしたかあさんぎつねでした。

## 11 キャラメルの木

作：上条さなえ 絵：小泉るみ子

講談社



しょうがっこう <sup>ねんせい</sup> 1年生のしんのすけは、おばあちゃんが <sup>だいす</sup> 大好き。  
キャラメル <sup>き</sup> の木 <sup>し</sup> のひみつを知ったのは、そのおばあちゃんの  
いえ <sup>ひとり</sup> へ一人であそび <sup>い</sup> に行ったときのことでした。

## 12 きよだいなきよだいな

作：長谷川摂子 絵：降矢なな

福音館書店



「あーったとき、あったとき、<sup>ひろ</sup> 広いのっばらどまんなか  
きよだいな〇〇あったとき。」さてさて、<sup>ひろ</sup> 広いのはらのどま  
ん中 <sup>なか</sup> にあったものは、<sup>なん</sup> 何だったのでしょうか？

## 13 くいしんぼうのはなこさん

文：いしいももこ 絵：なかたにちよこ

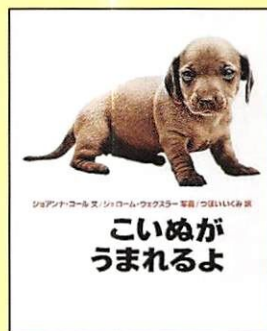
福音館書店



はなこさんは牛<sup>うし</sup>です。食<sup>た</sup>べることが大<sup>だい</sup>すきな牛<sup>うし</sup>です。ぼく  
じょうの中<sup>なか</sup>で、いちばんわがまな牛<sup>うし</sup>です。そんなはなこ  
さんが、ごちそうをひとりじめしたら、おなかがあれれ…。  
さあて、どうなったのでしょうかね。

## 14 こいぬがうまれるよ

文：ジョアンナ・コール  
写真：ジェローム・ウェックスラー  
訳：つばいいくみ  
福音館書店



おとなりのいぬにあかちゃんが<sup>う</sup>生まれる。生まれたあか  
ちゃんいぬは、まだ、目<sup>め</sup>もみえないし、耳<sup>みみ</sup>もきこえない。歯<sup>は</sup>  
だってはえていないんだ。大<sup>おお</sup>きくなっていくのを見<sup>み</sup>守りま  
しょう。

## 15 こぎつねコンとこだぬきポン

作：松野正子 絵：二俣英五郎

童心社

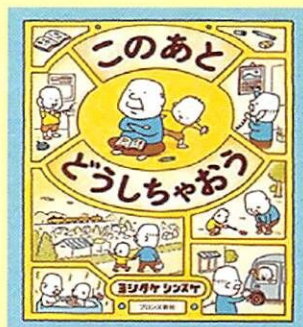


ともだちをさがしにでかけた こぎつねコンと、こだぬきポンは、山<sup>やま</sup>にあらしがやってきたおかげで、いっしょにあそぶことが できました。そして、ある日<sup>ひ</sup>のこと 2人はいれかわって <sup>いえ</sup>家にもどることになったのです。

## 16 このあとどうしちゃう

作：ヨシタケ シンスケ

ブロンズ新社



おじいちゃんは、しぬのがこわかったのかな？しんだおじいちゃんのノートをひらいてみると…。

しんだらどうなる？どうしたい？いま、いきているあいだに、かんがえてみよう。

## 17 こわしみず ぶたい

文：清瀬市郷土博物館 絵：熊谷元一

清瀬市郷土博物館



むかし、きよせの<sup>した</sup>下じゅくに たいそう はたらきもののおひやくしょうさんがいました。ある<sup>ひ</sup>日のこと はたけしごとの かえりに のどがかわいたので、<sup>おお</sup>大きな<sup>き</sup>すぎの<sup>した</sup>木の下にある いずみの<sup>みず</sup>水をのむと、なぜかそれは、あまいかおりで ほろにがいあじが するのです。

## 18 だんごどっこいしょ

作：大川悦生 絵：長谷川知子

ポプラ社



とんとん むかしねえ やまの ちいさな むらに、「ぐつ」って いう おとこのこが おったとき、<sup>まち</sup>町のおばさんの<sup>いえ</sup>家で だんごをごちそうになったぐつは、<sup>むら</sup>村にかえってばあちゃんにも だんごを<sup>つく</sup>作ってもらおうとしたのですが…。

## 19 ふしぎいっぱい写真絵本1 ダンゴムシみつけたよ

写真・文：皆越ようせい

ポプラ社



ダンゴムシがすんでいるところや危険な相手、また、赤ちゃんが生まれて大きく成長していくところなど、写真で見るダンゴムシの生活、成長の本。

## 20 どうするティリー？

作：レオ・レオーニ 訳：谷川俊太郎

あすなろ書房



ねずみたちがくらしているところにあるかべ。そのかべのむこうに何があるのか、ほかのねずみは気にしなかったのですが、たった1ぴきティリーだけは、かべのむこうを知りたかったのです。

## 21 どうぞのいす

作：香山美子 画：柿本幸造

ひさかたチャイルド



うさぎくんが<sup>つく</sup>ったいすには、「どうぞのいす」の <sup>かん</sup>ばんが<sup>た</sup>立ててあります。ある<sup>ひ</sup>のこと ロバさんが そのいすにドングリをおいておくと さあて、どうなるのかな？

## 22 ともだちや

作：内田麟太郎 絵：降矢なな

偕成社



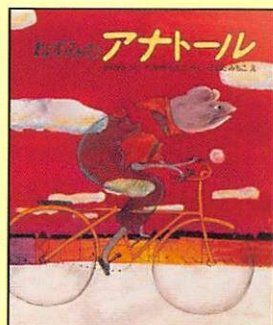
ある<sup>ひ</sup>、「ともだちや」というしごとを はじめることにしたキツネは、1<sup>じかん</sup>時間100<sup>えん</sup>円で ともだちになってあげることにしたのですが、さあて、しごとはうまくいくでしょうか？

## 23 ねずみのアナトール

作：イブ・タイタス 訳：たがやたえこ

絵：はまだみちこ

文研出版



おいしいチーズを作るには、どうすればよいのか あたまをなやます工場。しおは？おんどは？カビのつけぐあいは？そんなある日、チーズをたべただれかから すばらしいアドバイス。

## 24 パンダの手には、かくされたひみつがあった！

文：山本省三 絵：喜多村武

くもん出版



ヒトやサルは、手で物をにぎることができるけれど、ほとんどのどうぶつはできません。でもジャイアントパンダが竹をにぎって食べている すがたをみたことがあるでしょう？これにはひみつがあったのです。

## 25 <sup>ばん</sup> 番ねずみのヤカちゃん

作：リチャード・ウィルバー  
訳：松岡享子 絵：大社玲子

福音館書店



ネズミは、<sup>にんげん</sup>人間に見つからないように <sup>み</sup>こっそりしずかに  
くらさなければいけないのです。でも、やかましやのヤカ  
ちゃんは、<sup>おお</sup>とっても大きなこえのネズミの<sup>こ</sup>子だったから さ  
<sup>たいへん</sup>あ大変。

## 26 100まんびきのねこ

作：ワンダ・ガアグ 訳：石井桃子

福音館書店



ねこを1ぴきほしいおじいさん。その1ぴきのねこをさが  
しにおかをこえ、<sup>たに</sup>谷をこえて、やっと100まんびきのねこ  
がいるおかをみつけました。さあて、おじいさんは、その中<sup>なか</sup>  
からどんなねこをえらんだのでしょうか。

## 27 びゅんびゅんごまがまわったら

作：宮川ひろ 絵：林明子

童心社



かえでしょうがっこう小学校にはうんどうじょう運動場につづくあそびばがあります。でも、今、そのあそびばには、かぎがかかっています。どうしてもかぎをあ開けたいこうすけたちは、こうちょうせんせい校長先生にたのみにい行ったのですが…。

## 28 ふしぎなたけのこ

作：松野正子 絵：瀬川康男

福音館書店



やま山おくの むらおくの村の むかしむかしの はなしお話です。うらのたけやぶに たけのこをいまりに行ったたろは、ぐんぐんのびる ふしぎなたけのこといっしょに さあてどこまでいくのやら…。

## 29 ふたりはともだち

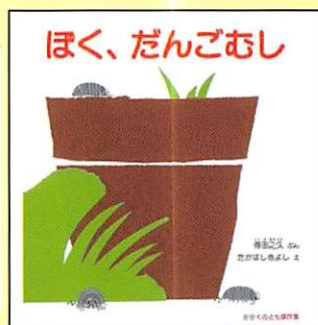
作・絵：アーノルド・ローベル  
訳：三木卓  
文化出版局



がまくんとかえるくんは、いつもなかよし。そんな<sup>ふたり</sup>2人の  
あったかいお話「はるがきた」「おはなし」「なくしたポタ  
ン」「すいえい」「おてがみ」の5つがのっています。

## 30 ぼく、だんごむし

文：得田之久 絵：たかはしきよし  
福音館書店



ぼくはだんごむし。ぼくたちは、なかまたちとくらしてい  
るけど 草<sup>くさ</sup>むらや林の中より街<sup>まち</sup>のなかのほうが住みやすい。  
なぜだかだんごむしの<sup>せいかつ</sup>生活をみてみましょう。

### 31 まあちゃんのながいかみ

作：たかどのほうこ

福音館書店



かみの毛がみじかい まあちゃんには、ゆめがあります。  
それは、かみの毛をなが〜くのばすゆめ。そしてそのながくの  
びたかみの毛で、やりたいことがあったのです。

### 32 めっきらもっきらどおんどん

作：長谷川摂子 絵：ふりやなな

福音館書店



ちんぷくまんぷく、あっぱらこのきんぴらこ、じょんがら  
ぴこたこ、めっきらもっきらどおんどん。このふしぎなこと  
ばで、かんとくんがまよいこんだ世界には、3人のきみよう  
な友だちがまっていましたよ。

### 33 ライギョのきゅうしょく

作：あべなつまる 絵：村上康成

講談社



おなじ池にすむライギョとタナゴの子どもたち。学校では、それぞれ大人のおとなの魚になるためのべんきょうをしています。ライギョは、えさの小さなこさかなをどうやってつかまえるかのべんきょう。タナゴは、てきにつかまらないようにおにごっこのべんきょうです。



## 3年生くらいから楽しめる本

### 34 赤いろうそくと人魚

作：小川未明 絵：たかしたかこ  
偕成社



ろうそく<sup>や</sup>屋のろうふう<sup>ふ</sup>婦は北国のぎよ<sup>ん</sup>漁村に二人だけで住<sup>す</sup>んでいました。ある日、おばあ<sup>にんぎよ</sup>さんが人魚の赤ちゃん<sup>ひろ</sup>を拾いました。二人はその赤ちゃんをだい<sup>じ</sup>大事にそ<sup>だ</sup>育て、とうとうかわい<sup>むすめ</sup>い娘にせい<sup>せい</sup>ちよう成長します。小川未明の代表作です。

### 35 いたずらおばあさん

作：高樓方子 絵：千葉史子  
フレーベル館



ようふく<sup>けんきゆう</sup>家のエラババ先生は、1枚<sup>き</sup>着ると、1歳<sup>さい</sup>若くなる服をはつ<sup>めい</sup>めしました。エラババ先生とで<sup>し</sup>弟のヒョコルさんは、その服を着て8歳の女の子に<sup>へ</sup>変身して…。

### 36 ウエズレーの国

作：ポール・フライシュマン 訳：千葉茂樹  
絵：ケビン・ホークス  
あすなろ書房



ウエズレーはなつ<sup>やす</sup>夏休みの自由<sup>けんきゆう</sup>研究のために、よ<sup>い</sup>良いアイデアをおも<sup>い</sup>つきました。それは、自分だけのぶん<sup>めい</sup>めい<sup>つく</sup>文明を創<sup>だ</sup>り出すこと。ウエズレーの創<sup>つく</sup>り出した<sup>くに</sup>国とは…。

## 37 海のいのち

作：立松和平 絵：伊勢英子  
ポプラ社



父の命を奪った、巨大な魚を追うため漁師になった太一。ある日、太一は海の中で父の命を奪ったクエと出会う。その時、太一は…。

## 38 大どろぼうホッツェンプロッツ

作：オトフリート・プロイスラー  
訳：中村浩三  
偕成社



おばあさんの大切なコーヒー挽きが、ホッツェンプロッツに盗まれてしまいます。少年カスパールと親友のゼッペルが、ホッツェンプロッツを追います。

## 39 おかあさんの紙びな

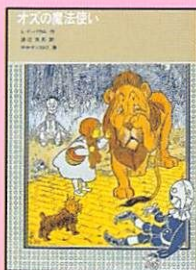
作：長崎源之介 絵：山中冬児  
岩崎書店



戦争が激しくなると私の家は焼けてしまいました。大事にしていたおひな様は田舎に預けて無事でしたが、戦後食糧不足に腹を空かせて泣く私のためにそれは白いご飯にかえられます。お母さんの紙びなは…。

## 40 オズの魔法使い

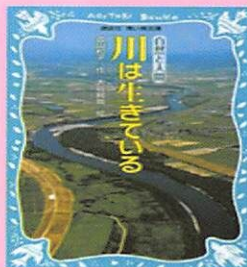
作：パウム 訳：渡辺茂男  
絵：ウィリアム・w・デンスロウ  
福音館書店



竜巻によって家ごと吹き飛ばされた少女ドロシーと飼い犬のトト。家が落ちたのはオズの国。北と南は良い魔女が、東と西は悪い魔女が支配しています。そして、国の真ん中には強い魔力を持つ大魔王オズ。どんな話になるのでしょうか。

## 41 川は生きている

作：富山和子 絵：間瀬なおかた  
講談社



水道のじゃぐちをひねる時、あなたはその水がどこから運ばれてくるのか考えたことがありますか。この本は、水の話であり緑の話であり土の話です。日本人と水の深い関係、自然と人間との関わりを教えてください。

## 42 霧のむこうのふしぎな町

作：柏葉幸子 絵：杉田比呂美  
講談社



一人旅に出かけたリナ。霧の谷の森を抜けると、きれいでどこか風変わりな町が現れました。そこで、リナはへんてこりんですてきな人々に出会います。

## 43 きょうりゅうが学校にやってきた

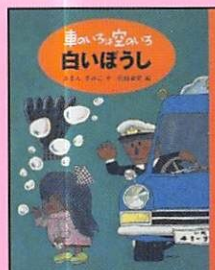
作：アン・フォーサイス 訳：熊谷鉦司  
絵：むかいながまさ  
金の星社



トムが教室のまどの外で見たものは、なんときょうりゅうだった。赤ん坊のきょうりゅうが巻き起こすひと騒動。ゆかいで楽しく、ほのぼのさせられる物語です。

## 44 車のいろは空のいろ

作：あまんきみこ 絵：北田卓史  
ポプラ社



松井さんの空色タクシーは誰でも乗せてもらえます。男の子または女の子はもちろん、ピエロのお人形や熊のぬいぐるみだって、それからこの本を読んでいるあなたたちも…。

## 45 ことばあそびうた

作：谷川俊太郎 絵：瀬川康男  
福音館書店

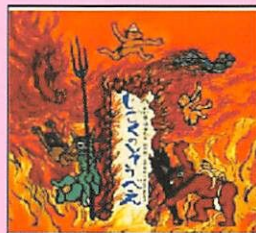


子どもたちはことば遊びが大好き。「かっばかっばらった かっばらっばかっばらった。とってちった」文句なしにおもしろい歌が15編入った、みんなで楽しめる絵本です。

## 46 じごくのそうべえ (上方落語・地獄八景より)

作：たじまゆきひこ

童心社



かるわざし  
軽業師のそうべえはつなわた  
綱渡りにしっぱい  
失敗し、じごく  
地獄に送られることになってしま  
いました。そこで出会った仲間たちとともに、えんま大王の前でおおあば  
大暴れをしま  
す。

## 47 世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ

編：くさばよしみ 絵：中川学

汐文社



リオデジャネイロでひら  
開かれたこくさい  
国際会議。なんべい  
南米ウルグアイ、「せかいいち  
世界一貧しい  
だいてりょう  
大統領」ムヒカだいてりょう  
大統領のえんぜつ  
演説がはじ  
始まりました。かいじょう  
会場の人たちは、それほどかん  
心しん  
心をいだ  
抱いていないようでした。しかし、えんぜつ  
演説がお  
終わったとき、おお  
大きなおお  
拍手はくしゅ  
がわきおこったのです。

## 48 セロひきのゴーシュ

作：宮沢賢治 絵：茂田井武

福音館書店



ゴーシュはセロひきですが、あまり上手ではありません。ゴーシュは、毎  
日おとず  
訪れるどうぶつ  
動物たちのためにセロをひ  
弾きれんしゅう  
練習をします。そして音楽会本番では  
…。

## 49 龍の子太郎

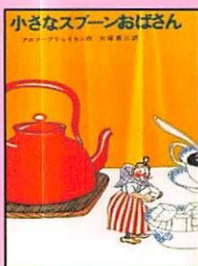
作：松谷みよ子 絵：田代三善  
講談社



りゅうになったという母をたずねて、なまけんぼうの龍の子太郎は旅に出  
ます。いろいろな苦難を乗り越え、大冒険のすえ、太郎はついに…。

## 50 小さなスプーンおばさん

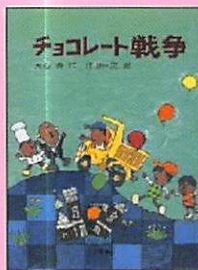
作：アルフ・プリョイセン 訳：大塚勇三  
絵：ピョールン・ベルイ  
学研



ある朝、目がさめたら、いきなり茶さじぐらいにちぢんでしまったスプ  
ーンおばさん。気丈なおばさんは少しもあわてず、てきはきと困難を切りぬけ  
ていきます。気の優しいご亭主との静かな暮らしの中でお話が展開します。

## 51 チョコレート戦争

作：大石真 絵：北田卓史  
理論社



明と光一は、町一番のケーキ屋さんの窓をわたったがいをかけられてし  
まいます。自分たちは犯人ではないのに…。二人は仕返しのため計  
画を立てま  
す。

## 52 綱渡りの男

作：モーディカイ・ガースティン  
訳：川本三郎  
小峰書店



ストリート・パフォーマンスをしているフィリップは、建設中のツインタワーを見ていました。「あそこで綱渡りをしたい！」と思い、フィリップはさくせん作戦を立てます。

## 53 手ぶくろを買いに

作：新美南吉 絵：黒井健  
偕成社



子ぎつねの手を見て、母ぎつねは手ぶくろを買ってやろうと思います。町へ行った子ぎつねは、無事、手ぶくろを買うことができるのでしょうか。

## 54 天使のいる教室

作：宮川ひろ 絵：ましませつこ  
童心社



サトバン先生は一年生の担任をすることになりました。その一年生の中に、重い病気をもちあきこちゃんという子がいました。あきこちゃんのためにサトバン先生と1年1組の子供たちはどんなことをしたのでしょうか。

## 55 てんぷらぴりぴり

作：まどみちお 絵：杉田豊

大日本図書

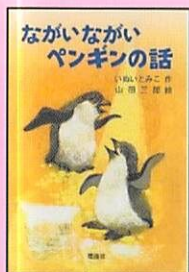


ほら、おかあさんがことしもまたてんぷらぴりぴりあげだした。みんなが  
まっていたシソの実のてんぷら。ツクツクホウシが今朝ないたらもうすぐぴり  
ぴりあげだした。その他「石うす」など全部で29の詩があります。

## 56 ながいながいペンギンの話

作：いぬいとみこ 絵：山田三郎

理論社



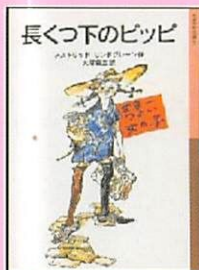
こわいもの知らずのおにいさんルルとおくびょうだけど心の優しい弟のキ  
キが力を合わせてきけんを乗りこえたくましく育てていきます。南極に生まれ  
れたふたごのペンギンのはらはらドキドキ冒険物語です。

## 57 長くつ下のピッピ

作：アストリッド・リンドグレン

訳：大塚勇三

岩波書店



小さい、小さい町の町はずれに、一軒の古い家「ごたごた荘」がありま  
す。そこに住むピッピ・ナガツツタは、自由で強い女の子。そんなピッピ  
のお話です。

## 58 ねこが見た話

作：たかどのほうこ 絵：瓜南直子  
福音館書店



うろろしながらからしているのらねこが見た、奇妙でユーモラスなお話  
が4編。キノコを食べ続ける一家。天国と地獄のはざまを自撃した事件な  
ど、不思議で楽しい世界に誘います。

## 59 バイバイ スクール

作：はやみねかおる 絵：吾妻ひでお  
講談社



廃校になってしまう大奥村小学校最後の日、校長先生が「学校の七不思議」  
の話をしてくれます。夏休みになると、その七不思議が実際に起こり  
…。

## 60 八郎

作：斉藤隆介 絵：滝平二郎  
福音館書店

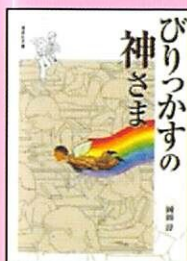


大男の八郎は、なぜ自分の体が小山ほどあるのか知らない。ところがある  
日、大波に田畑を流されて泣くお百姓を見て、初めて自分が働く者のために  
あることを知り荒れ狂う海に向かいます。

## 61 びりっかすの神様

作・絵：岡田淳

偕成社



4年1組に転校してきた木下始は、転校一日目に教室で小さな透き通った男が飛んでくるのを見ます。背中には小さな翼。翌日始は、その男がクラスで最低点をとった者のところへやってくることを知りました。

## 62 北極のムーシカミーシカ

作：いぬいとみこ 絵：瀬川康男

理論社



双子の北極ぐまの物語。くまの子ムーシカとミーシカは、ある日、雪あなを飛び出し、迷子になってしまいます。2ひきは一体どうなってしまうのでしょうか？

## 63 ぼくは王さま

作：寺村輝夫 絵：和田誠

理論社



そうのたまごやきがほしいといだした王さま。しゃぼん玉のくびかさりのお話。ウソとホントの宝石ばこ。サーカスにはいった王さま。4つの話が入っています。ほのぼのとした王さまのとぼけたふるまいをお楽しみに。

## 5年生くらいから楽しめる本

### 64 雪の写真家ベントレー

作：ジャクリーン・ブリックス・マーティン  
絵：メアリー・アゼリアン 訳：千葉茂樹  
BL出版



ウィリー・ベントレーは、アメリカの豪雪地帯にある小さな農村に生まれました。ベントレーは、その生涯を雪の研究と結晶の写真撮影にささげたのです。

### 65 ユタと不思議な仲間たち

作：三浦哲郎 絵：碧川みなみ  
講談社



東京から引っ越してきたユタ（勇太）は、なかなか村になじめません。そんな時、ユタは、古い旅館で座敷わらしのペドロたちと出会うのです。

### 66 ルドルフとイッパイアッテナ

作：斉藤洋 絵：杉浦範茂  
講談社

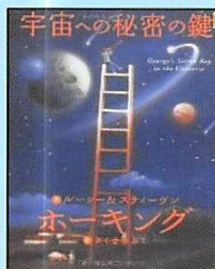


ひよんな事から長距離トラックにのってしまい、東京に来てしまったルドルフ。ルドルフは、そこでイッパイアッテナと出会い、一緒に暮らし始めます。

## 5年生くらいから楽しめる本

### 67 宇宙への秘密の鍵

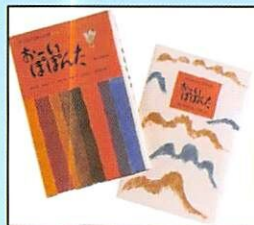
作：ルーシー&スティーヴン・ホーキング  
訳：さくまゆみこ  
岩崎書店



物理学者のホーキング博士が、神秘的で不思議な宇宙のことを、楽しい物語を通して子ども向けに分かりやすく書いた本です。家族で読んで、みんなで楽しめるといいですね。

### 68 おーいぽぽんた 声で読む日本の詩歌166

作：茨木のり子他  
福音館書店



この本には、「詩」・「短歌」・「俳句」がたくさん載っています。気に入ったものがあったら、くりかえし、声に出して読んでみましょう。暗記してしまうかもしれませんね。

### 69 影の王

作：スーザン・クーパー  
訳：井辻朱美 画：小西英子  
偕成社



ある朝、目覚めてみると、ナットは16世紀のロンドンに。グローブ座の舞台上に立つナットは、「真夏の夜の夢」の妖精パックを演じ、シェイクスピアの近くで幸せな時間を過ごすことに。

## 70 ガラスのうさぎ

作：高木敏子

金の星社

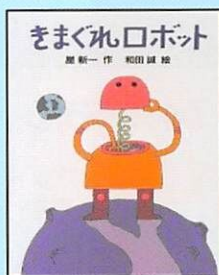


1945年3月10日、東京大空襲<sup>だいくうしゅう</sup>。東京の町は戦火<sup>せんか</sup>につつまれ、焼け跡<sup>あと</sup>には敏子の家にあった「ガラスのうさぎ」がぐにゃぐにゃになってころがっていました。戦争<sup>むざん</sup>の無惨<sup>むな</sup>さや虚<sup>むな</sup>しさを、また命<sup>いのち</sup>の尊<sup>とうと</sup>さを教えてくれる本です。

## 71 きまぐれロボット

作：星新一 絵：和田誠

理論社



お金持ちのエヌ氏は、博士の発明したなんでもできる優秀<sup>ゆうしゅう</sup>なロボットをつけて、島の別荘へ出かけました。ところが、思いもかけないことが起きて…。表題作の他30編を収めたショート・ショート集です。

## 72 きみの友だち

作：重松清

新潮社



友だちのこと、時々、わからなくなることがありませんか？友だちのことで悩<sup>なや</sup>んでいることがあったら、読んでみてください。きっと友だちの気持ちが少し見えてくるかもしれませんね。

## 73 獣の奏者

作：上橋菜穂子

講談社



獣の<sup>けもの</sup> 医術師<sup>いじゅつし</sup>を目指し<sup>めざし</sup> 王獣<sup>おうじゅう</sup> 保護場<sup>ほごじょう</sup>がある<sup>あ</sup> 学舎<sup>まなびや</sup>に入舎<sup>いれ</sup>した<sup>し</sup> エリン。そこでの<sup>そこ</sup> 王獣<sup>おうじゅう</sup>の子<sup>こ</sup> リランとの<sup>と</sup> 関わり<sup>かんわり</sup>から<sup>か</sup> エリンは<sup>は</sup> 王獣<sup>おうじゅう</sup>を<sup>を</sup> 操<sup>あやつ</sup>る<sup>すべ</sup> 術<sup>じゆつ</sup>を<sup>を</sup> 見<sup>み</sup>つけ<sup>つ</sup>ます。しかし、それが<sup>それが</sup> エリンを<sup>を</sup> 王国<sup>おうこく</sup>の<sup>の</sup> 争<sup>あ</sup>い<sup>い</sup>に<sup>に</sup> 引<sup>ひ</sup>き<sup>き</sup>ず<sup>ず</sup>り<sup>り</sup> 込<sup>こ</sup>み<sup>み</sup>て<sup>て</sup> い<sup>い</sup>っ<sup>っ</sup>て<sup>て</sup> しま<sup>ま</sup>う<sup>う</sup> の<sup>の</sup> です<sup>です</sup>…。

## 74 こちら「ランドリー新聞」編集部

作：アンドリュー・クレメンツ

絵：伊藤美貴 訳：田中奈津子

講談社



カーラは<sup>けいじ</sup> 5年生<sup>ごねんせい</sup>の<sup>の</sup> 目<sup>め</sup> 立<sup>だ</sup> た<sup>た</sup> ぬ<sup>ぬ</sup> 女<sup>め</sup> の<sup>の</sup> 子<sup>こ</sup>。ある<sup>ある</sup> 日<sup>ひ</sup>、自<sup>じ</sup> 分<sup>ぶん</sup> で<sup>で</sup> 作<sup>つく</sup> っ<sup>っ</sup> た<sup>た</sup> 新<sup>しん</sup> 聞<sup>ぶん</sup> を<sup>を</sup> 掲<sup>か</sup> 示<sup>し</sup> す<sup>す</sup> る<sup>る</sup> と、それ<sup>それ</sup> が、学<sup>がく</sup> 校<sup>こう</sup> 中<sup>ちゆう</sup> の<sup>の</sup> 注<sup>ちゆう</sup> 目<sup>め</sup> に。や<sup>や</sup> が<sup>が</sup> て<sup>て</sup> 先<sup>せん</sup> 生<sup>せい</sup> と<sup>と</sup> 子<sup>こ</sup> 供<sup>ども</sup> た<sup>た</sup> ち<sup>ち</sup> の<sup>の</sup> 新<sup>しん</sup> 聞<sup>ぶん</sup> 作<sup>つく</sup> り<sup>り</sup> の<sup>の</sup> 活<sup>かつ</sup> 動<sup>どう</sup> が<sup>が</sup> 大<sup>だい</sup> き<sup>き</sup> な<sup>な</sup> 騒<sup>そう</sup> 動<sup>どう</sup> に<sup>に</sup> な<sup>な</sup> っ<sup>っ</sup> て<sup>て</sup> しま<sup>ま</sup> い<sup>い</sup> ます<sup>す</sup>。「表<sup>へい</sup> 現<sup>げん</sup> の<sup>の</sup> 自<sup>じ</sup> 由<sup>ゆう</sup>」を<sup>を</sup> カ<sup>か</sup> ー<sup>ー</sup> ラ<sup>ラ</sup> た<sup>た</sup> ち<sup>ち</sup> は<sup>は</sup> 考<sup>こう</sup> え<sup>え</sup> ます<sup>す</sup>。

## 75 子どもに語るアラビアンナイト

訳・再話：西尾哲夫／再話：茨木啓子

こぐま社



アリババ、シンドバッド、<sup>きよだい</sup> 巨<sup>きよ</sup> 大<sup>だい</sup> な<sup>な</sup> 魔<sup>ま</sup> 人<sup>じん</sup>、<sup>そらと</sup> 空<sup>そら</sup> 飛<sup>と</sup> ぶ<sup>ぶ</sup> 木<sup>も</sup> 馬<sup>ば</sup>。ペ<sup>ぺ</sup> ル<sup>る</sup> シ<sup>し</sup> ア<sup>あ</sup> の<sup>の</sup> お<sup>お</sup> 妃<sup>き</sup> シ<sup>し</sup> エ<sup>え</sup> ハ<sup>は</sup> ラ<sup>ら</sup> ザ<sup>ざ</sup> ー<sup>ー</sup> ド<sup>ど</sup> が<sup>が</sup> 王<sup>おう</sup> さ<sup>さ</sup> ま<sup>ま</sup> に<sup>に</sup> 語<sup>か</sup> っ<sup>っ</sup> た<sup>た</sup>、<sup>せん</sup> 千<sup>せん</sup> と<sup>と</sup> <sup>いちや</sup> 一<sup>いち</sup> 夜<sup>や</sup> の<sup>の</sup> 物<sup>もの</sup> 語<sup>ご</sup>。学<sup>がく</sup> 校<sup>こう</sup> や<sup>や</sup> 家<sup>か</sup> 庭<sup>てい</sup> で<sup>で</sup> の<sup>の</sup> 読<sup>よ</sup> み<sup>み</sup> 聞<sup>き</sup> か<sup>か</sup> せ<sup>せ</sup> にも<sup>も</sup> 最<sup>さい</sup> 適<sup>てき</sup> な<sup>な</sup> 1<sup>いつ</sup> 冊<sup>ふみ</sup>。



## 76 シートン動物記 オオカミ王ロボ

文・絵：アーネスト・T・シートン  
訳・解説：今泉吉春  
童心社

アメリカの高原クルンパにオールドロボと呼ばれるオオカミがいました。ロボを捕らえるよう頼まれたシートンが色々な作戦を試すのですが…。ロボの賢さ、群れの繋がり、妻ブランカへのロボの思いが伝わります。



## 77 下町不思議町物語

作：香月日輪 絵：藤丘ようこ  
岩崎書店

6年の直之はこの春、関西から越してきて、転校したクラスのいじめっ子とはいつもけんか。でも負けずに戦い頑張ります。それは、放課後に行くとでも不思議な町と、そこに住む「師匠」がいるからです。

## 78 自分の脳を自分で育てる

著：川島隆太  
くもん出版



人間がいろいろな行動をするときに、脳のどの部分がどのように活動するのかを、画像にして見せてくれます。最先端の研究を紹介してくれるので、興味深く読めます。

## 79 シャーロック・ホームズ まだらのひも

作：コナン・ドイル 訳：林克己  
岩波書店



英国サリー州の西の果てに暮らすロイロット家ストーナー姉妹の姉ジュリアが結婚前に謎の死をとげた。ダイニングメッセージ、まだらのひもに隠された謎とは？

## 80 十五少年漂流記

作：ジュール・ベルヌ 訳：末松氷海子  
集英社



ごうごうと吹き荒れる嵐の海。必死に船をあやつろうとする15人の少年たち。船はやがて無人島に流れつきます。探検、協力、対立…。

## 81 白狐魔記 源平の風

作：斉藤洋 画：高畠純  
偕成社



人間のことをもっと知りたくなったきつね。白駒山に住む仙人の下で修業し、人間に化身できるように。旅の途中、兄頼朝から逃れる源義経一行に出会い、その中で、戦いとは… 武士とは… きつねは考えます。

## 82 ソフィー・スコットの南極日記

著：アリソン・レスター 訳：斎藤倫子

小峰書店



9歳のソフィー・スコットは船長さんのパパといっしょに南極に行くことに。氷山にびっくりしたり、ペンギンやアザラシ、シャチとであったり。わくわく、ドキドキの毎日です！

## 83 チームふたり ★

作：吉野万理子 絵：宮尾和孝

学研



卓球部のキャプテン大地は、小学校最後の試合で、5年生の純とダブルスを組むことになり、がっかり。でも、それどころではない「事件」が起きてしまい、「チームふたり」の友情はどうなるのでしょうか…。

## 84 竹炭のふしぎな力 温暖化対策の可能性をさぐる

著：中根周歩

小峰書房



日本でわたしたちの身近にある竹。その竹を炭にした竹炭には不思議なすばらしい力があります。その竹炭の利用方法などから、現代の温暖化などの環境問題について考えてみましょう。

## 85 天才コオロギニューヨークへ

作：ジョージ・セルデン 訳：吉田新一  
絵：ガース・ウィリアムズ  
あすなろ書房



田舎に住んでいたコオロギのチェスターは、ニューヨークに<sup>たど</sup>辿り着き、駅の新聞売りの息子マリオに<sup>か</sup>飼われることに。そこで、ねずみのタッカー、猫のハリーと出会い、そして、すばらしい演奏が<sup>ひょうばん</sup>大評判となり…。

## 86 夏の庭

作：湯本香樹実  
徳間書店



3人の6年生の男の子たちと町外れに<sup>く</sup>暮らす一人の老人との心の交流を描いた作品です。老人との交流を通して「生きる」ことの意味を少しずつ考えるようになっていきます。

## 87 南総里見八犬伝 (21世紀に読む日本の古典⑱)

訳・著：砂田弘 絵：赤坂三好  
ポプラ社

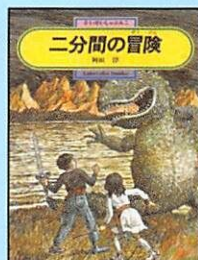


時は室町時代。仁・儀・礼・智・忠・信・孝・悌の文字のある八つの玉が天高く飛び姿を消しました。その後、その玉をそれぞれ持つ<sup>けんしん</sup>犬士達が不思議な運命で出会い、次々起こる事件に、<sup>かたれい</sup>華麗に勇ましく立ち向かいます。

## 88 二分間の冒険

作：岡田淳

偕成社



悟は黒猫ダレカに話しかけられ、不思議な世界へ。その世界は、竜が支配する国で竜と戦って勝たなければ老人にされてしまうというのです。果たして悟は勝ってもとの世界にもどれるのでしょうか。

## 89 ハンナのかばん アウシュビッツからのメッセージ

作：カレン・レピン 訳：石岡史子

ポプラ社



第二次世界大戦中、アウシュヴィッツのガス室で13年の生涯を終えたハンナ・ブレイディ。ハンナのかばんは、わたしたちに何を訴えているのでしょうか。

## 90 ブライユ 伝記世界を変えた人々⑧

著：ピバリー・バーチ 訳：乾侑美子

偕成社



フランス人ブライユは3歳で失明しました。当時、目の不自由な人は十分な教育を受けられない環境にありました。ブライユは、まだ15歳で点字を発明し、それが目の不自由な人々の世界を広げていったのです。

## 91 プーさんとであった日

著：リンジー・マティック  
絵：ソフィー・ブラッコール 訳：山口文生  
評論社



『クマのプーさん』のモデルになったウィニーは、カナダの獣医師がイギリスに連れていった実在のクマだった。胸が熱くなる、プーさんの真実の物語。巻末にはその当時の写真が数多く掲載されている。

## 92 ホビットの冒険

作：J・R・R・トルキン 訳：瀬田貞二  
絵：手島竜一  
岩波書店



ホビット小人のビルボの家に魔法使いガンダルフが現れ、ビルボはドワーフ達と共に昔、竜に奪われた宝を取り戻す困難な旅に出ることに。行く手には、恐ろしいゴブリンなどが…。果たして、辿り着けるのでしょうか。

## 93 都会のトム&ソーヤ

作：はやみねかおる  
講談社



内藤内人は中学2年。頭脳明晰な同級生の電王創也と仲良くなり、行動を共にします。創也は、伝説のゲームのクリエイターを探していて、下水道を探索したり、テレビ局内を見学したり。二人の冒険が続いていきます。

## 94 まぼろしの白馬

作：エリザベス・グーシ 訳：石井桃子  
岩波書店



古い領事館に引き取られた孤児の少女マリアは、館にまつわる伝説に興味をいだき、その謎を解こうと大はりきり。活発で明るいマリアは、周囲の大人達をまきこみ、スリルあふれる物語が。

## 95 みみずのカーロ シェーファー先生の自然の学校

著：今泉みね子 画：中村 鈴子  
合同出版



ドイツのメルディングガー小学校にはゴミ箱が1つしかありません。子供たちがゴミ、自然、環境について考えていったからです。自然を考えるとときにミミズのカーロも大活躍。そして、自分達で自然のために行動していきます。

## 96 ムジナ探偵局<名探偵登場！>

作：富安陽子 画：おかべりか  
童心社



コートの中の夢に出る白い木箱。小さなアブが運ぶ暗号の謎。源太の学校の盗難事件。ムジナ探偵と、好奇心おうせいな少年源太の迷コンビがふしぎな事件に挑む。君にこの暗号がとけるか！？

## 97 名探偵カッレくん

作：アストリッド・リンドグレン  
訳：尾崎義  
岩波書店



名探偵を夢見るカッレとアンデス、おてんば娘のロッタは、仲よし3人組。古い城跡を探検したり、サーカスのまねをしたり、夏休みを楽しく過ごしていました。そこへ現れたエイナルおじさんのあやしい拳動に、カッレくんは…。

## 98 床下の小人たち

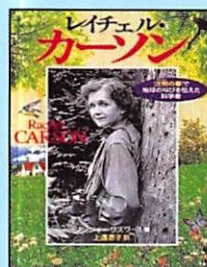
作：メアリー・ノートン 訳：林容吉  
岩波書店



イギリスの古い家の床下に三人の小人の家族が住んでいました。上の家から色々な物を借りて暮らしていたのです。娘のアリエッティが初めて借りに行ったある日、人間の男の子に「見られ」てしまい…。

## 99 レイチェル・カーソン 「沈黙の春」で地球の叫びを伝えた科学者

作：ジンジャー・ワズワース 訳：上遠恵子  
偕成社



「沈黙の春」で著名なカーソンの生涯を明快で、読みやすい文章で紹介しています。環境問題はひとつの国だけではなく世界中で取り組まなければならない問題だということが伝わってきます。

やなせたかし

わたしが正義について語るなら

# 100 わたしが正義について語るなら

著：やなせたかし  
ポプラ社



正義とはなにか。絶対的な正義なんてないし、正義は逆転する。正義のためには悪人がいなくちゃいけないけれど、悪人の中にも正義がある。正義を生きるのは大変だけれども、その中で僕たちが目指すべき正義とは。



	書名	読んだ日&メモ
あ	1 一文坂	/
	2 うごいちゃだめ!	/
	3 うんこのえほん	/
	4 王さまと九人のきょうだい	/
	5 おおきなきがほしい	/
	6 おかえし	/
	7 おこだでませんように	/
	8 おしょうがつ	/
	9 おまえうまそうだな	/
か	10 きつねのでんわボックス	/
	11 キャラメルの木	/
	12 きょだいなきょだいな	/
	13 くいしんぼうのはなこさん	/
	14 こいぬがうまれるよ	/
	15 こぎつねコンとこだぬきボン	/
	16 このあとどうしちやおう	/
	17 こわしみず ぶたい	/
た	18 だんごどっこいしょ	/
	19 ダンゴムシみつけたよ	/
	20 どうするティリー?	/
	21 どうそのいす	/
	22 ともだちや	/
な	23 ねずみのアナツール	/
は	24 パンダの手にはかくされたひみつがあった!	/
	25 番ねずみのヤカちゃん	/
	26 100まんびきのねこ	/
	27 びゅんびゅんごまがまわったら	/
	28 ふしぎなたけのこ	/

	書名	読んだ日&メモ
	29 ふたりはともだち	/
	30 ほく、だんごむし	/
ま	31 まあちゃんのながいかみ	/
	32 めっきらもっきらどおんどん	/
ら	33 ライギョのきゅうしょく	/
あ	34 赤いろうそくと人魚	/
	35 いたずらおばあさん	/
	36 ウエズレーの国	/
	37 海のいのち	/
	38 大どろぼうホツェンプロッツ	/
	39 おかあさんの紙ひな	/
	40 オズの魔法使い	/
か	41 川は生きている	/
	42 霧のむこうのふしぎな町	/
	43 きょうりゅうが学校にやってきた	/
	44 車のいろは空のいろ	/
	45 ことばあそびうた	/
さ	46 じごくのそうべえ	/
	47 世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ	/
	48 セロひきのゴーシュ	/
た	49 龍の子太郎	/
	50 小さなスプーンおばさん	/
	51 チョコレート戦争	/
	52 綱渡りの男	/
	53 手ぶくろを買いに	/
	54 天使のいる教室	/
	55 てんぷらびりびり	/
な	56 ながいながいペンギンの話	/

	書名	読んだ日&メモ
	57 長くつ下のピッピ	/
	58 ねこが見た話	/
は	59 バイバイスクール	/
	60 八郎	/
	61 びりっかすの神様	/
	62 北極のムーシカミーシカ	/
	63 ぼくは王さま	/
や	64 雪の写真家ベントレー	/
	65 ユタと不思議な仲間たち	/
ら	66 ルドルフとイッパイアッテナ	/
あ	67 宇宙への秘密の鍵	/
	68 おーいぼほんた 声で読む日本の詩歌 166	/
か	69 影の王	/
	70 ガラスのうさぎ	/
	71 きまぐれロボット	/
	72 きみの友だち	/
	73 獣の奏者	/
	74 こちら「ランドリー新聞」編集部	/
	75 子どもに語るアラビアンナイト	/
さ	76 シートン動物記オオカミ王ロボ	/
	77 下町不思議町物語	/
	78 自分の脳を自分で育てる	/
	79 シャーロック・ホームズ まだらの ひも	/
	80 十五少年漂流記	/
	81 白狐魔記 源平の風	/
	82 ソフィー・スコットの南極日記	/
た	83 チームふたり	/
	84 竹炭のふしぎな力	/

		書名	読んだ日&メモ
	85	天才コオロギニューヨークへ	/
な	86	夏の庭	/
	87	南総里見八犬伝	/
	88	二分間の冒険	/
	89	ハンナのかばん	/
は	90	ブライユ	/
	91	ブーさんとであった日	/
	92	ホビットの冒険	/
	93	都会のトム&ソーヤ	/
ま	94	まぼろしの白馬	/
	95	みみずのカーロ シェーファー先生の 自然の学校	/
	96	ムジナ探偵局<名探偵登場!>	/
	97	名探偵カッレくん	/
や	98	床下の小人たち	/
ら	99	レイチェルカーソン「沈黙の春」で地 球の叫びを伝えた科学者	/
わ	100	わたしが正義について語るなら	/

# 「本は友だち」

発行日	平成30年3月30日	
表紙絵	清瀬市立清瀬第七小学校	石井 柚葉
挿絵1	清瀬市立清瀬小学校	三塚 怜奈
挿絵2	清瀬市立清瀬第十小学校	櫻井 あいら
裏表紙	清瀬市立清瀬第十小学校	滝井 元也
発行	清瀬市教育委員会 指導課 〒204-8511 清瀬市中里五丁目842番地 TEL 042-492-5111	
印刷	ほしみ印刷株式会社 〒189-0025 東村山市廻田町1-2-11 TEL 042-395-0234	

